



こうち人づくり広域連合

第5回調査研究事業

平成20年度 調査研究事業企画書



森林セラピーロード(津野町)

グループ名: TG

テーマ

個人・家族の防災シナリオ作成事業 ~大災害のとき、迷わず行動するために~

グループ名: エコライフ高幡

テーマ

こだわり野菜宅配事業 ~やる気のある農家が美味しい高幡野菜を直接届けます~

平成20年度 こうち人づくり 調査研究事業

こだわり野菜宅配事業

やる気のある農家が美味しい高幡野菜を直接届けます



グループ名 エコライフ高幡

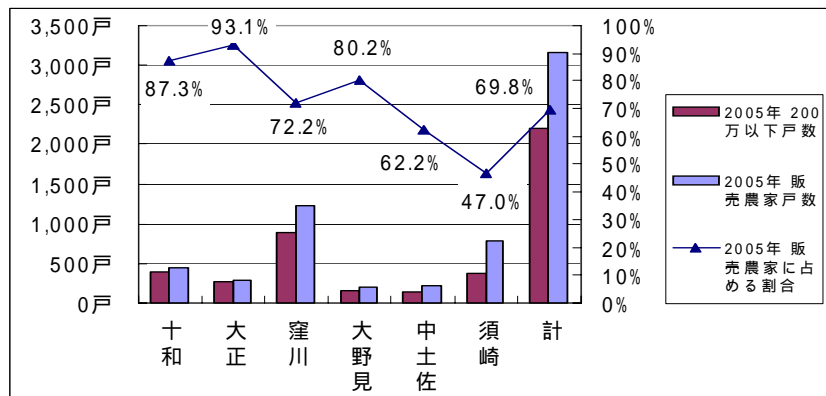
所属	名前
須崎市 企画課	森本 義人
中土佐町 環境課	高木 吉規
四万十町 十和総合支所地域振興課	田辺 俊輔
四万十町 大正総合支所地域振興課	國澤 豪人

事業の必要性（事業選択の背景）

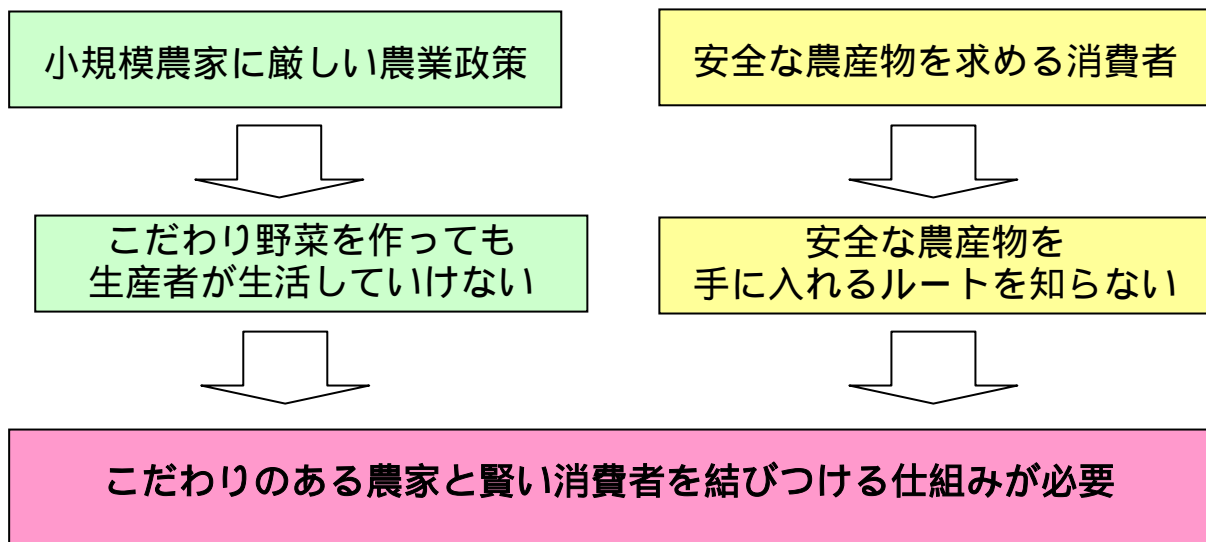
輸入農産物の安全性についての問題は、家庭での食生活を脅かしています。また加工品においても同様であり、消費者は国産農作物、加工品への関心が非常に高まっています。

しかしながら、地域の農業は衰退の一途を辿っており、活力を失いつつあります。まず挙げられるのが、農家の高齢化や後継者不足の問題です。農林水産省にも様々な農業振興に関する補助事業がありますが、面的な集約を基本的な要件としているため、小規模な農家は補助対象となることが出来ず、農業に対するやる気の低下を招いています。また、農家は生産活動のみに専念し、独自の販売ルートを築くことができなかったというこれまでの形態も、農家の所得向上の妨げとなり、農業衰退の一因だったといえるでしょう。

事実、2005年における高幡3市町（須崎市、中土佐町、四万十町）の販売農家のうち、年収200万以下の農家は69.8%となっており、高い割合を占めています。



小規模な農家に対して、市町村は財政難の中、決定的な農業振興策を打ち出せてないのが現状ではないでしょうか。



この事業の役割

こうした背景を受け、私たちは「**小規模であってもこだわりのある農家**」と「**食の安全に敏感な消費者**」をつなぎ、「**農家の活力を取り戻し、消費者に安全な食生活を提供できる仕組み**」を提案します。

事業の内容

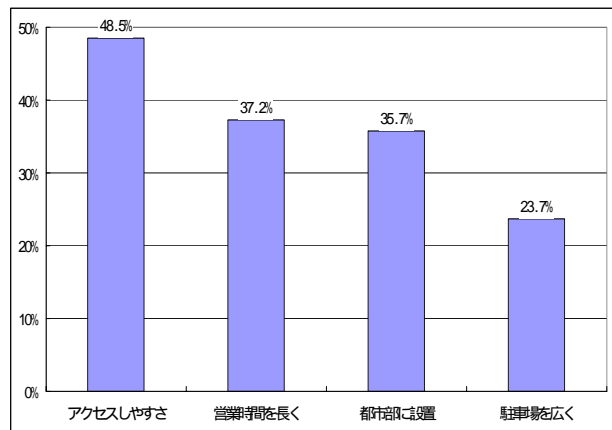
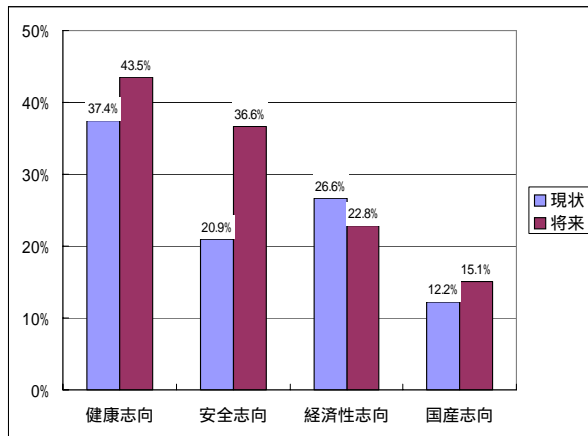
平成 20 年度の農林漁業金融公庫による消費者を対象としたアンケートにおいて、生鮮食品に対する志向で最も高かったのは「健康志向」でした。また、「安全志向」も将来大幅に上昇することが見込まれている一方、経済性志向は低下が予想されています。

さらに、これらの消費者が直販所に求めるものとしては「アクセスのしやすさ」が第一に挙げられており、立地条件等により健康で安全な野菜を購入する機会が制約されているといえます。

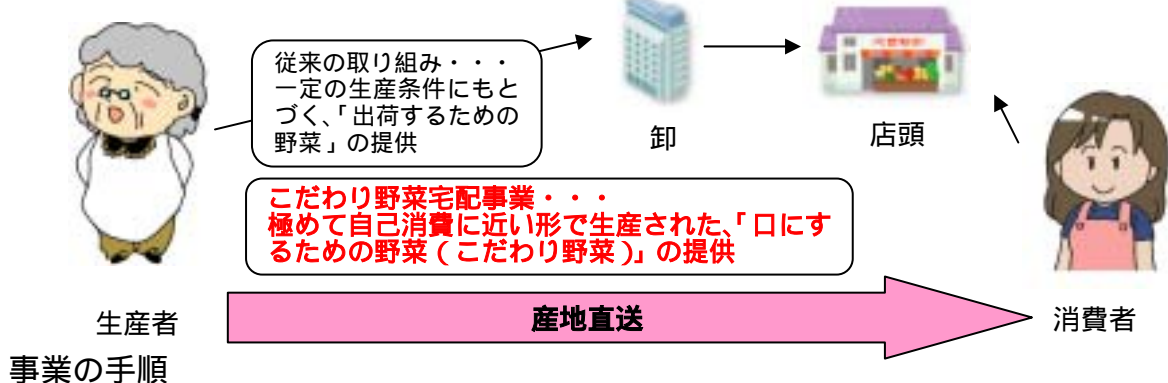
そこで、私たちは ハード整備を必要とせず、消費者が求める「安全・安心・便利」に対応し、小規模農家のやる気と所得向上が期待できるのは「消費者との直接取引」であるということにたどり着き、「**こだわり野菜宅配事業**」を考えました。

本事業でいう「こだわり農家」とは・・・

極めて自己消費に近い形で生産されたもので、なおかつその生産過程において品質向上のために何らかの具体的な手法が施されており、推進協議会の認定を受けた農家のことをいう。



こだわり野菜宅配事業とは・・・



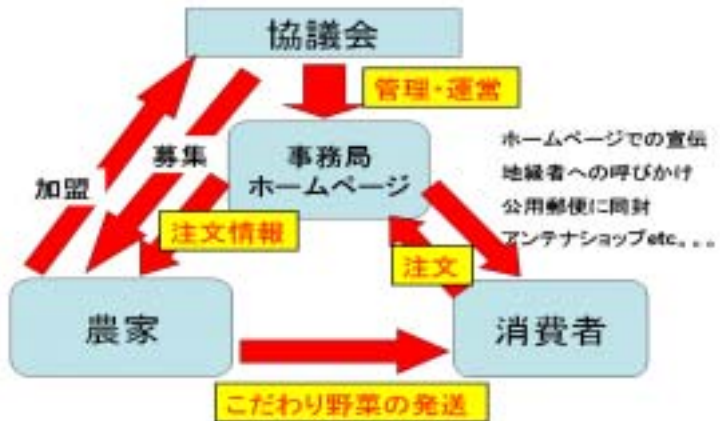
事業の手順

協議会の設立	農家、農業委員会、市町村などで構成
農家の募集と選定	初年度高幡広域で 30 戸を選定（広報誌等で募集）
協議会ホームページの作成	情報発信、受注システムを備えたホームページ
PR 活動	高知県人会、アンテナショップ、各種イベント、マスコミ等で。
受注	電話やハガキ、インターネットで。
配送・集金	各農家から直送。着払いや銀行振り込みなどで決済
アフターサービス、クレーム対応	アンケートによる意向調査 各農家に提供、情報共有

事業の概要（スキーム図）



イメージキャラクター
しんじょうくん



事業の実効性

効果の明示

事業の効果を検証するため、系統出荷との比較をすると下図のようになります。生産者受取価格は本事業の場合、生産者が判断できる領域を含めると 1,500 円となり、系統出荷の場合と比べると 510 円増となります。利益率でおおよそ 50%の増です。

☆系統出荷との比較

2,000円の商品として出荷する場合



本事業による初年度販売目標

- こだわり農家会員数 30 名
- 各農家の顧客数 30 名
- 年間出荷回数 10 回
(毎月 1 回)
- 商品価格 2,000 円
(価格は統一する)
- 販売目標
. 30 名 × 30 名 × 10 回 × 2,000 円
= 18,000,000 円

予算額

歳入	2,264 千円	歳出	2,264 千円
県補助金 (元気が出る補助金)	1,102 千円	人件費 (7千円×21日×12月)	1,764 千円
市町村分担金 (3市町、1自治体あたり 368 千円)	1,102 千円	委託料 (ホームページ作成・管理)	400 千円
会費 (1戸当たり 2 千円 × 30 戸)	60 千円	消耗品・通信料	100 千円

3 年後にはこだわり農家 100 戸を目標として、売り上げに応じた手数料 (3~5%) により歳入を確保する。

事業の推進に向けて
日程計画（初年度）

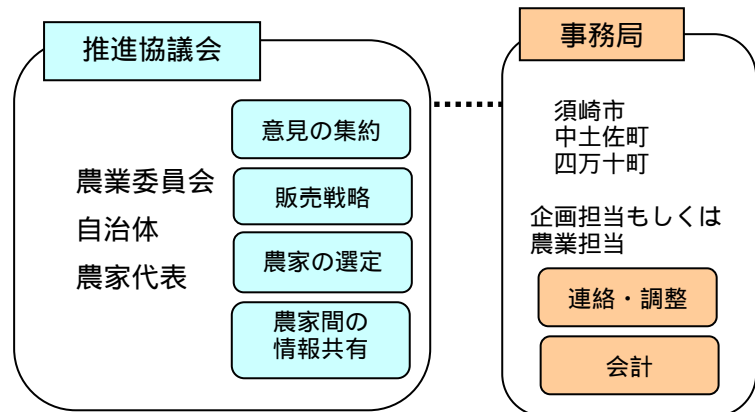
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
協議会の設立	→			
こだわり農家の募集と選定	→	→		
協議会HPの作成	→	→		
PR活動		→	→	
受注			→	→
配送・集金			→	→
アフターサービス			→	→

推進体制

推進協議会を中心として意見の集約、調整を行う。

事務局は中央に位置する中土佐町に設置し、連絡調整及び会計を行う。

なお、事務局には臨時職員を1名配置する。



まとめ

国の政策は、農業者に対する農用地の利用の集積、農業経営管理の合理化その他農業経営基盤の強化を促進しており、大規模農家を重視するものとなっています。

一方、安心・安全な農作物を作っている小規模農家は高齢化や後継者不足により活路を見出せない状況にあります。

この事業で消費者と生産者を直接結びつけることで、消費者にはこだわり野菜による食の安全を提供し、生産者には農業のやる気を（所得や消費者との関わり合いの面から）向上させます。

小規模農家がほとんどを占める高幡地域においては、この事業は非常に有効な農業活性化策です。



**12月には来年度当初予算の編成が始まります！
即、ご決断を！！**